

| | | | | |
|------|---------------|------------|---|-------|
| 科目名称 | 看護概論 I (看護概論) | 学年学期 | 単位数 | 時間数 |
| | | 1 学年前・後期 | | 40 時間 |
| 担当教員 | 香川 暁美 | 授業に関わる実務経験 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無 | |

【1】 授業概要

看護を学ぶうえで基盤となる基礎看護のなかで、看護概論では看護とはなにか、看護の対象である人間とはどんな存在であるかを学び、看護が何を目的とし、どのような方法で行われるのかについて基本的な事項を学ぶ。そして看護について自分の考えや態度を養っていくことを目的とする。

【2】 学習目標

- 1) 看護の対象者としての人間がどのような存在であるか理解できる。
- 2) 人間の健康の概念、健康をまもる仕組みについて理解できる。
- 3) 人間が健康な生活を送るための環境がどのようなもの理解できる。
- 4) 看護の目的、対象、方法について理解できる。
- 5) 保健医療福祉の連携と看護職の役割と責任を理解できる。
- 6) 法律や看護倫理の側面から、専門職業人としてのあり方について考えることができる。
- 7) 看護が専門職業にいたった歴史の変遷を理解できる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力

- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
- 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。

II. 看護を実践する力

- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
- 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
- 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。

III. 人間関係を構築する力

- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
- 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。

IV. 主体的に学び続ける力

- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
- 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

| | 内容 | 主な授業形態 |
|----|-------------------|--------|
| 1 | 看護のとらえ方 私の考える看護とは | 講義 |
| 2 | 看護理論と看護① | 講義 |
| 3 | 看護理論と看護② | 講義 |
| 4 | 看護の対象① | 講義 |
| 5 | 看護の対象② | 講義・演習 |
| 6 | 健康とは | 講義・演習 |
| 7 | 看護活動① | 講義 |
| 8 | 看護活動② | 講義 |
| 9 | 看護活動③ | 講義 |
| 10 | 病院組織と看護体制 | 講義 |
| 11 | 医療安全と看護 | 講義・演習 |
| 12 | 職業と看護 | 講義 |
| 13 | 保健医療福祉のしくみ① | 講義 |
| 14 | 看護者としての倫理① | 講義 |
| 15 | 看護者としての倫理② | 講義・演習 |
| 16 | 看護史① | 講義 |
| 17 | 看護史② | 講義 |
| 18 | 看護史③ | 演習 |
| 19 | 私の考える看護とは | 演習 |
| 20 | まとめ・試験 | 筆記試験 |

【5】 評価方法

筆記試験 75% レポート・成果物等 25% 計 100 点で 60 点以上が合格

【6】 教科書

中原 るり子他著 「看護学入門5 基礎看護 I (看護概論)」 メヂカルフレンド社 第 7 版 2025 年

【7】 参考書

フローレンス・ナイチンゲール著 小玉香津子他訳 「看護覚え書」 日本看護協会出版会

【8】 受講生へのメッセージ